

## 1. 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

### (1) 地域産業資源の活用を促進する意義

#### 静岡県の特色・個性

- ・静岡県は、日本のほぼ中央に位置し、日本一の富士山、雄大な南アルプス、美しい浜名湖、水と緑の伊豆半島、恵み豊かな駿河湾、豊富な温泉など、バラエティに富んだ自然は、日本の風土の縮図ともいえ、気候も温暖であり、これらの豊かな自然は、観光資源としてばかりでなく、農林水産資源や豊富な水による工業の振興にも大きく寄与してきています。
- ・また、伊豆・東部地域には、観光資源となっている開国の歴史や源氏ゆかりの名所や旧跡が多数存在しております。中部地域は、浅間神社の造営にあたり全国の職人がこの地に住み着いたのが起源となり、木製品を中心とした地場産業が発展しています。また、西部地域は、江戸時代から日本有数の綿花の産地として綿織物、繊維産業が発達し、その後織機工業、楽器工業の技術蓄積が図られ、現在の産業基盤を形成してきております。
- ・本県には、こうした豊かな自然条件や歴史に加え、首都圏、中部・近畿圏への近さといった恵まれた地理的条件や、東海道新幹線、東名高速道路、国際コンテナを扱う清水港といった交通基盤、物流機能が本県産業を支えており、更に新東名高速道路が建設されているほか、富士山静岡空港が2009年3月開港予定です。
- ・これらを基盤として、静岡県には多彩な産業が発達しており、第1次産業としては、かつて輸出を牽引していたお茶をはじめ、かつおなどの水産物、第2次産業としては、世界ブランドとなっているオートバイ、ピアノや紙・パルプ、第3次産業としては伊豆地域に集積している旅館（数）などの日本一を誇る産品をはじめとして、多種多彩な地域産業資源が数多くあります。

#### 産業経済の概観

- ・本県の農林水産業は、高品質で多様な産品を提供するなど優位性を保ってきました。しかし、国内外との競争激化等を背景とする価格の下落、従事者の高齢化等によって、昭和56年をピークに生産額や生産量が減少するなど様々な課題に直面しています。今後、意欲的な担い手を中心とする生産構造に転換するためにも、県内で生産される農林水産物のブランド力の強化を進めていくことが求められています。
- ・本県は、製造品出荷額等で見ると全国第3位のものづくり県ですが、中国をはじめとするアジア諸国の技術力・競争力が向上し、国際競争が激化しており、特に本県の製造業の約20%を占める地場産業では、1事業所あたりの出荷額等が他の製造業に比して半分以下と生産性の低さが伺えます。  
本県のものづくりを支える中小企業が、今後も成長を続けるためには、産学官連携による研究開発や異業種交流等により、技術の高度化や製品の高付加価値化を図る必要があります。

- ・本県は、有名な観光地である伊豆地域をはじめとして、多くのホテル、旅館を抱え、また、富士山など優れた観光資源に恵まれ、本県を訪れる観光客の数が常に全国でベスト5に入るなどの観光立県ですが、近年、観光交流客数は横ばいであり、宿泊客数については、平成3年度から減少傾向にあり、観光地においては、旅行形態の変化や観光ニーズの多様化に対応し、地域が一体となって地域の観光資源を活用した効果的な誘客対策を進める必要があります。

## 静岡県 の 経済指標

項 目		年 次	単 位	全 国	本 県	順 位	全 国 比
面	積	平成15年10月1日	Km <sup>2</sup>	377,838	7,780	13	2.1%
人	口	平成17年10月1日	千人	127,757	3,792	10	3.0%
県（国）民所得		平成16年度	億円	3,583,968	123,205	10	3.2%
一人当りの県（国）民所得		平成16年度	千円	2,841	3,247	3	-
名目県（国）内総生産		平成16年度	億円	4,982,804	160,689	10	3.2%
事業 所 数 (民営)	総 数	平成16年6月1日	事業 所	5,728,492	188,883	9	3.3%
	第 1 次			18,518	415	-	2.2%
	第 2 次			1,144,051	45,419	-	4.0%
	第 3 次			4,565,923	143,049	-	3.1%
就産 業 者 別 数	総 数	平成17年10月1日	千人	61,506	1,991	10	3.2%
	第 1 次			2,966	98	7	3.3%
	第 2 次			16,065	687	7	4.3%
	第 3 次			41,329	1,187	10	2.9%
製 造 品 出 荷 額 等		平成17年	億円	2,956,064	173,227	3	5.9%
卸・ 小 売 業	商 店 数	平成16年6月1日	店	1,613,318	51,112	10	3.2%
	就 業 者 数		人	12,410,036	343,841	10	2.8%
	販 売 額	平成15年度	億円	5,387,758	107,572	11	2.0%
観 光	宿 泊 施 設 数	平成18年3月末日	施設	87,927	5,499	2	6.3%
	う ち 旅 館 数			55,567	3,956	1	7.1%
	宿 泊 客 数	平成17年度	千人		18,795		

## (2) 地域産業資源の指定及びその活用への支援に当たっての基本的な考え方

豊かな創造性とチャレンジ精神を持った人々が、地域資源を活用した新事業の展開を図るための様々な挑戦を応援し、誰もが意欲と能力に応じて豊かな生活を送ることができるよう、独創性のある元気な産業づくりを進め、「産業活力日本一」の達成を目指します。

### 地域産業資源に係る情報の蓄積と共有化

静岡県は、地域産業資源を活用した新たな新商品・新サービスの開発等を行う中小企業者の取組に対して、国や市町、産業支援機関をはじめ大学、金融機関など関係機関と協力体制をとりながら、様々な側面から強力に支援します。特に、本県では産業部としての強みを活かし、農林水産業、商工業、観光といった部門が相互に横断的な連携をとりながら、事業化への支援を推進します。

### 地域産業資源の認知度向上

地域産業資源及びそれを活用した商品や役務に関する認知度を向上させるため、県や市町の広報だけでなく県内外のマスコミ、メディアをはじめ、地域産業資源活用商品を扱う通信販売業者などへの情報提供を積極的に実施し、全国に向けて地域産業資源及び活用商品等の消費者の認識の向上に努めます。

また、商品や役務を開発するための支援だけでなく、それらを受け取る消費者等に認められるような商品や役務が提供できるようマーケティングに対する支援を推進します。

### 関係機関等との連携と場づくり

中小企業の新たな需要の開拓を支援するため、県内企業の有する優れた技術やサービスを県内外に幅広くPRするほか、産学官交流の場や、県内外の企業とのビジネスマッチングの機会の提供など、企業がビジネス機会の拡大を図るうえでの環境を整備するとともに、その活用を積極的に呼び掛けます。

### 地域産業資源の開発

静岡県内の地域産業資源の有する真の価値を見直し、新たな事業展開への可能性を検討するとともに、これまで経営資源として認識されていなかったものを含め地域産業資源として開発していきます。

## 2. 地域産業資源の内容

本県において、地域産業資源を活用した中小企業による事業を促進する意義があると考えられる資源及び活用が期待できる地域は以下のとおりです。

### (1) 農林水産物

No	名称	地域産業資源に係る地域
1	静岡茶	県全域
2	静岡いちご	県全域
3	静岡みかん	県全域
4	静岡温室メロン	袋井市、磐田市、掛川市、森町、浜松市
5	次郎柿	浜松市、磐田市、森町
6	富士梨	富士市
7	キウイフルーツ	富士川町
8	だいたい	熱海市
9	白びわ	伊豆市
10	梅	伊豆市
11	修善寺黒米	伊豆市
12	古代米(黒米・赤米)	松崎町
13	古代米(緑米)	清水町
14	豚肉	富士宮市
15	牛乳	富士宮市
16	鶏	富士宮市
17	浜名湖うなぎ	浜松市、新居町
18	三島うなぎ	三島市
19	吉田うなぎ	吉田町
20	シラス	富士市
21	シラス	浜松市、磐田市、新居町
22	シラス	吉田町
23	駿河湾桜えび	静岡市、由比町
24	駿河湾桜えび	大井川町
25	由比桜えび	由比町
26	伊勢海老	南伊豆町
27	タカアシガニ	沼津市
28	浜名湖あさり	浜松市、新居町
29	カキ	浜松市、新居町
30	遠州灘天然とらふぐ	浜松市
31	浜名湖アオノリ	浜松市
32	テングサ	熱海市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
33	カツオ	焼津市
34	マグロ	静岡市、焼津市
35	サバ	焼津市

36	アジ	沼津市
37	ニジマス	富士宮市
38	キンメダイ	下田市
39	キンメダイ	東伊豆町
40	わさび	伊豆市
41	わさび	静岡市
42	三島馬鈴薯	三島市
43	三方原馬鈴薯	浜松市
44	甘藷	三島市
45	黒大豆	袋井市
46	箱根大根	三島市
47	海老芋	磐田市
48	キャベツ	富士宮市
49	白ねぎ	磐田市
50	たまねぎ	浜松市
51	しいたけ	伊豆市
52	たけのこ	南伊豆町
53	スイートコーン	森町
54	バラ	静岡市
55	バラ	島田市、掛川市
56	ガーベラ	浜松市
57	富士ひのき	富士市、富士宮市、御殿場市、裾野市、三島市、沼津市、芝川町、小山町、長泉町、清水町

(2) 鋳工業品又は鋳工業品の生産に係る技術

No	名称	地域産業資源に係る地域
1	駿河湾海洋深層水	県全域
2	富士山の水	沼津市、富士市、三島市、富士宮市、御殿場市、裾野市、小山町、長泉町、清水町、芝川町
3	清酒	県全域
4	水産加工品	焼津市
5	焼津鯉節	焼津市
6	沼津ひもの	沼津市
7	静岡おでん	静岡市
8	浜松餃子	浜松市
9	裾野水餃子	裾野市
10	みそまん	浜松市
11	御殿場ハム	御殿場市
12	富士宮やきそば	富士宮市
13	袋井宿たまごふわふわ	袋井市
14	桜葉の塩漬け	松崎町
15	木製家具	静岡市、焼津市、大井川町、岡部町、藤枝市、島田市
16	仏壇	静岡市
17	プラモデル	静岡市、焼津市
18	紙	富士市、富士宮市、芝川町、富士川町
19	靴・サンダル	静岡市、焼津市、藤枝市、岡部町、川根本町
20	駿河雛具	静岡市、焼津市
21	駿河雛人形	静岡市、富士市、焼津市、藤枝市、岡部町、大井川町、由比町
22	駿河竹千筋細工	静岡市
23	駿河指物	静岡市
24	駿河塗下駄	静岡市
25	駿河張下駄	静岡市
26	静岡挽物	静岡市
27	駿河漆器	静岡市
28	駿河蒔絵	静岡市
29	駿河和染	静岡市、焼津市
30	森山焼	森町
31	井川メンバ	静岡市
32	賤機(しずはた)焼	静岡市
33	ざざんざ織	浜松市
34	浜松注染そめ	浜松市
35	熱海楠細工	熱海市、函南町
36	焼津弓道具	焼津市
37	掛川手織葛布	掛川市
38	藤枝桐箆筒	藤枝市

39	下田脂松細工	下田市
40	志戸呂焼	島田市
41	かも風鈴	西伊豆町
42	遠州鬼瓦	袋井市
43	木製雑貨	静岡市
44	木工機械	県全域
45	自動車・自動車部品	県全域
46	二輪車（モーターサイクル）	県全域
47	楽器	浜松市、磐田市、新居町
48	遠州織物	浜松市、磐田市、袋井市、森町、掛川市、菊川市、御前崎市、牧之原市、湖西市、新居町
49	医療機器	沼津市、三島市、熱海市、伊東市、富士市、富士宮市、御殿場市、裾野市、伊豆の国市、伊豆市、小山町、函南町、清水町、長泉町、芝川町
50	天竜材（杉・ひのき）	浜松市、森町
51	杉材（しずおか優良木材）	県全域
52	ひのき材（しずおか優良木材）	県全域

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

No	名称	地域産業資源に係る地域
1	富士山	県全域
2	熱海温泉郷	熱海市
3	伊東温泉	伊東市
4	東伊豆まち温泉郷	東伊豆町
5	七滝温泉	河津町
6	下田温泉	下田市
7	伊豆長岡温泉	伊豆の国市
8	土肥温泉	伊豆市
9	修善寺温泉	伊豆市
10	堂ヶ島温泉	西伊豆町
11	松崎温泉	松崎町
12	梅ヶ島温泉	静岡市
13	焼津黒潮温泉	焼津市
14	寸又峡温泉	川根本町
15	川根温泉	川根町
16	館山寺温泉	浜松市
17	南アルプス	静岡市、川根本町
18	遠州三山	袋井市
19	湖西連峰	湖西市
20	駿河湾	静岡市、沼津市、焼津市、富士市、御前崎市、伊豆市、牧之原市、西伊豆町、松崎町、南伊豆町、由比町、大井川町、吉田町
21	奥大井県立自然公園	静岡市、川根本町、浜松市
22	浜名湖	浜松市、湖西市、新居町
23	田貫湖	富士宮市
24	遠州灘海岸	浜松市、御前崎市、掛川市、袋井市、磐田市、新居町、湖西市
25	牧之原海岸	牧之原市
26	城ヶ崎海岸	伊東市
27	白浜海岸	下田市
28	石廊崎	南伊豆町
29	堂ヶ島	西伊豆町
30	狩野川	沼津市、伊豆の国市、伊豆市
31	白糸の滝	富士宮市
32	浄蓮の滝	伊豆市
33	猿ヶ淵と河津七滝	河津町
34	柿田川湧水	清水町、沼津市
35	千鳥ヶ谷池	袋井市
36	新居関跡	新居町
37	富士浅間宮本殿	袋井市
38	蓬萊橋	島田市



39	問宿(あいのしゆく)岩淵	富士川町
40	沼津港	沼津市
41	なまこ壁の町並み	松崎町
42	朝霧高原	富士宮市
43	大瀬崎海岸	沼津市
44	せせらぎルート	三島市
45	沼津御用邸記念公園	沼津市
46	茶茗館	川根本町
47	アクティ森	森町
48	戦国夢街道ハイキングコース	森町
49	雛のつるし飾り	東伊豆町
50	島田鬻まつり	島田市
51	ふくろい遠州の花火	袋井市
52	遠州新居の手筒花火	新居町
53	小笠山総合運動公園 (エコパ)	袋井市
54	大井川鐵道のS L	島田市、川根町、川根本町
55	よさこい東海道	沼津市
56	棚田	松崎町
57	棚田	浜松市
58	棚田	菊川市
59	日本平	静岡市
60	三保松原(三保海岸)	静岡市
61	河津桜	河津町
62	熊野(ゆや)の長フジ	磐田市
63	長者ヶ原の山ツツジ	南伊豆町
64	奥石廊崎のユウスゲ	南伊豆町
65	三社祭礼囃子	掛川市
66	遠州森町の舞楽	森町

(1) 農林水産物	57
(2) 鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術	52
(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源	66
計	175

### 3. 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

国や地域の関係機関等と連携し、国の支援事務局に配置される外部の専門家等の資源を有効に活用しながら、中小企業がいかに消費者や顧客に商品や役務の価値を提供していけるかという観点から、企画、開発、生産、流通の各段階に応じたきめ細かな支援を実施します。

#### (1) 個別地域産業資源に関する施策

##### 静岡県地域活性化基金事業

中小企業の研究開発やマーケティングを支援するため、財団法人しずおか産業創造機構に90億円の基金を造成し、その運用益により中小企業に助成することで、新事業や新産業の創出による地域活性化を図ります。

##### しずおか食料産業クラスター形成支援事業

農林水産業と食品産業の連携を促進し、地域や産業の活性化を図るためのクラスター形成に向けた協議会の活動を支援します。

##### 静岡トライアングルリサーチクラスター形成事業

###### ・富士山麓先端健康産業集積（ファルマバレー）プロジェクト

富士山麓に広がる県東部地域には、本県の医薬品・医療機器生産額全国2位を支える多くの医薬品・医療機器関連企業が集積するほか、県立静岡がんセンター及び同研究所、国立遺伝学研究所をはじめとする公立・民間の研究所が多数立地し、全国屈指の温泉、保養・リゾート地を数多く有する伊豆半島地域とも一体的な地域を形成していることから、これらの恵まれた地域資源を活かし、医療からウェルネスまで世界レベルの研究開発を進め、県民の健康増進と健康関連産業の振興を図ります。

###### ・食品・医薬品・化成品産業集積（フーズ・サイエンス ヒルズ）プロジェクト

県中部地域には、豊富な農水産物を活用した鰹節や調味料及び缶詰など全国有数の食品産業が発達し、医薬品、化成品産業等が集積しているほか、静岡県立大学、静岡大学、東海大学などライフサイエンス分野で優れた実績を持つ大学や研究機関が立地しており、これら産業界の技術開発力と学界の研究開発力を融合して、既存産業の高度化や新たな食品関連産業の創出を図ります。

###### ・光・電子技術関連産業集積（フォトンバレー）プロジェクト

県西部地域には、繊維、楽器、輸送用機器を中心としたモノづくり産業や光・画像処理技術が集積しているほか、静岡大学、浜松医科大学、県浜松工業技術支援センターなどの研究開発拠点が存在しており、こうした背景をベースに、既存産業の技術の高度化と新産業の創出に大きく貢献することが期待される光・電子関連技術産業の集積を促進します。

##### 県産品情報発信事業

特産品普及啓発、新規需要開拓を図るため、ホームページや県産品紹介イベント等による情報提供を行います。

##### 特産品マーケティング強化支援事業

特産品の情報収集、団体指導を行うとともに、大都市圏への販路拡大を支援します。

#### 地域・工芸品産業マーケティング強化支援事業

地域産業及び伝統工芸品産業のマーケティングの推進を図るため、組合等が行う新商品開発や需要開拓事業等に対して支援します。

#### 旅館・ホテル等宿泊産業振興事業

県内の観光地については、観光客の志向やニーズの変化に対応した受入態勢の整備・充実が求められており、観光客の受入側である旅館・ホテル等宿泊産業の振興を図るため、外国人観光客や高齢者の対応など、サービス・ホスピタリティの向上や経営意識の啓発を図るための事業を実施します。

### (2) 関連する施策

#### 金融面での支援

県制度融資や高度化資金等による金融支援、信用保証協会に対する損失補償等により、中小企業の円滑な資金の調達や経営基盤の強化を図ります。

#### 経営指導の強化

- ・ものづくりをはじめ新たな事業分野や市場を創出する意欲ある創業者やベンチャー企業等が行う研究開発から事業化までを、一貫して支援する総合的な支援体制を形成するため、財団法人しずおか産業創造機構を中心に、「しずおか夢起業支援事業」を推進します。
- ・中小企業におけるデザイン開発を奨励するとともに、企業、大学、デザイナー等の連携を促進し、デザイン開発力強化を支援します。
- ・ものづくりを支える下請中小企業の振興を図るため、取引拡大や提案型企業への転換等の自立化に向けた取り組みを支援します。

#### 経営革新の促進

- ・中小企業が競争力を強め成長を続けていくためには、市場の変化をいち早くつかみ、それに適合した新商品の開発や新サービスを提供することが重要であることから、地場企業等が取り組む経営革新の実現を積極的に進めます。
- ・また、新商品・新技術やデザイン開発等に意欲的に取り組む業界団体、中小企業の販路開拓を支援します。

#### 企業連携の推進

- ・産業の多様性という特色を生かして、異業種・異分野の新たな連携の促進を図ることにより、地域の中から、自立的に、高付加価値を持った新しい技術・製品・サービス等が生み出される環境を整え、既存産業を高度化する第二創業や新産業の創出を図ります。
- ・加工品や外食等への消費者ニーズの高まりに応えるため、農林水産業と食品産業等との連携促進により、産地の新たな事業分野の開拓などを支援します。
- ・生産・加工・製造、流通及び消費の連携を強化し、消費者と生産者の顔の見える関係づくりや本県の観光・食文化と連携した農林水産物の魅力発信などにより、消費者に支持される産地ブランドの育成を支援します。

#### 技術支援（産学官連携による研究開発支援）

- ・ 農林技術研究所、畜産技術研究所、水産技術研究所及び工業技術研究所などの試験研究機関における総合的な技術開発及び支援の実施等により、付加価値の高い新しい技術・製品・サービス等が生まれる環境を整えるとともに、経営革新及び異分野連携に取り組む意欲的な経営体や中小企業等を支援します。
- ・ 新産業創出に向けた産学官共同研究等の推進策として、公設試験研究機関等の公的機関を中心に、民間企業、大学、試験研究機関等からなる産学官連携ネットワークの充実強化や地域コンソーシアムの活用、研究機関と大学の人事交流を活発化する連携大学院制度の拡充、大学等の研究成果を民間に移転する静岡TLOの活用、産学官交流を進めるためのテクノサロンの開催など、様々な交流や連携が行われる機会や場づくりを促進します。

#### 人材育成

- ・ 新産業創出のための人材育成施策として、サテライトキャンパス（本校以外に設置した教育施設）の開設の促進や、県内大学生・専門学校生向けの起業家養成セミナーの開催等を進めます。
- ・ 中小企業の技術研究開発力の向上や新規事業へのステップアップへの促進を図るため、中小企業の中核となる高い技術力を持った優秀な人材育成の研修を実施します。
- ・ 県民に技術、技能の重要性や素晴らしさを啓発するため、平成 19 年 11 月に「ユニバーサル技能五輪国際大会」を県内で開催します。

#### 地場産業の総合支援

- ・ 本県の多様で高品質な工業製品や農林水産物の、国内外に向けた市場開拓と取引拡大に向けた取り組みを支援します。
- ・ 新商品の開発、積極的な市場開拓、人材育成により地場産業を振興します。また、全国や海外で通用するブランドの確立を目指すうえでの支援を行います。
- ・ 地域の特性を生かした商品又は製品の開発や販売を支援します。
- ・ 市町や地域づくり団体が、地域資源を活かし、住民の地域づくり活動を促進することによって、特色ある地域づくりを行い、もって地域の抱える課題を解決するための事業を支援します。

#### 支援機関の機能強化

独自技術・サービスの開発や新事業の展開を目指す中小企業を支援する「中小企業支援センター（財団法人しずおか産業創造機構に設置）」や、創業や経営革新等に関する経営上の課題の相談窓口である「地域中小企業支援センター（商工会議所に設置）」の充実を図ります。

#### 観光産業の支援

- ・ 歴史文化など、特色ある地域素材の活用と魅力あるテーマの設定や、シニア・女性等のターゲットを明確にした商品開発等、魅力的な商品づくりや販路開拓などを効果的に行

うマーケティング力の向上を促進します。

- ・農林水産業、製造業等との連携による、グリーンツーリズム、ブルーツーリズム、エコツーリズムなど多様なツーリズムの推進を支援します。
- ・観光地等において、商業関係者等が協働して行う商店の魅力向上や地域の特色等を活かした個性豊かな商店街づくりの取組や NPO 法人などが進めているフィルムコミッション等を支援します。
- ・観光交流人口の増大を図るため、地域固有の観光資源を活用し、魅力ある観光地づくりの形成により誘客の促進に寄与する事業（観光商品化・販路拡大、地域の観光魅力の発信、富士山静岡空港に関連した国内遠隔地マーケティング活動等）を実施する観光関係団体等を支援します。

#### 海外拠点の活用

中国の上海市やシンガポールの静岡県駐在員事務所に加え、平成 19 年 6 月に開設した韓国ソウル事務所における本県の特産品や観光の広報をはじめ、米国在住の国際ビジネスアドバイザーなどを活用し、本県の地域資源を活用した製品や特産品の販路拡大を進めます。